

37日間の夏休みが終わりました。皆さんが今日こうして無事に登校できたことを何よりうれしく思います。また、夏休み中には、バレーボール部の中体連県大会2回戦進出、地区音楽祭での合唱部の洗練された演奏、灯まつりでの全校ダンスによる地域貢献、市少年の主張大会や市子ども議会での本校生徒の練り上げられた主張、市サマーイングリッシュキャンプや都路アカデミア東京志塾でのグローバルな研修、その他にも、学習や部活動、地域のイベントなどにおいて活躍する皆さんの姿を見て、半歩でも前に出れば伸びる可能性を改めて認識しました。

さて、夏休みに入る前の全校集会において、皆さんには、『夏休みにもっと努力しておけばよかった』と後悔することのないように、自分をマネジメントしてください。」と話しました。夏休みは終わりましたが、都中生にとって、克服すべき課題の一つが、家庭学習を充実させることです。

3年生も部活動引退、1・2年生も1週間に最低2日は部活動休養日となります。家庭での生活が、ゲーム依存、スマホ依存、ネット依存になってはいけません。スマホやゲームを開発している大人たちは、我が子にスマホやタブレットを渡さないという話を思い出してください。

はじめは家族の協力を得ながら、徐々に自分でタイムマネジメントができるようにして、まずは家庭学習の時間を確保してください。次に、家庭学習の内容です。「自分の課題を知る⇒自分の課題にそった目標や計画を立てる⇒計画にそって主体的に学習する⇒学習の結果や取組を振り返る⇒学習の内容・方法を見直し、実行する」、即ちR-PDCAサイクルを先生方にもアドバイスをもらいながら、自分で回してみましましょう。勉強も部活も仕事も、やらされるのは楽しくありません。自分で課題を見つけてやるから楽しいのです。初めは上手にできなくてもいいのです。自分から行動すること、踏み出すこと、そうチャレンジするから、人生は面白いのです。

7月29日発行の福島民報新聞に、2年生の渡辺彩夏さんが全校集会で発表した意見文が掲載されました。彩夏さんは、桜美林大学の皆さんと協力して行ったピザ窯造りが楽しかった理由に、目に見える成果があったこと、普段できない貴重な体験ができたこと、普段話す機会のない大学生と交流できたことをあげていました。また、地域の人たちを巻き込んでいく学生と、それを支える地域の人たちとの交流が、地域の活性化につながっているのではないかという鋭い考察をしています。さらには、ピザ窯造りを通じて、様々なことに気づき、学ぶことができたきっかけは、好奇心にあると述べるとともに、これからも、ちょっとした好奇心を大切にしていきたいと結んでいました。アップルのiPhoneを世に送り出したスティーブ・ジョブスも、“Stay hungry. Stay foolish.”であれと言っていたのを思い出します。

中学生の皆さんには若さでは負けますが、好奇心と共に生きていくこと、そして挑戦する気持ちでは、私も負けてはいられません。「挑戦って、楽しい。」「あきらめないって、楽しい。」と思える生徒が、先生が、そして大人が、これからもっともっと増えるような素敵な学校、素敵な地域にしていきたいと思います。